



Panasonic®

取付説明書

SDカーナビステーション

Strada

品番 CN-F1SD

取り付け・配線の前に、別冊の取扱説明書の「安全上のご注意」(P.6～9)を必ずお読みください。

販売店様へのお願い

- 取り付け後、この取付説明書は必ずお客様にお渡しください。

お客様へのお願い

- 取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

接続端子一覧

取り付けの際に、確認用としてお使いください。
配線についての詳細は「配線のしかた」をご覧ください。(P.4～8)

① ナビゲーションユニット(後面)

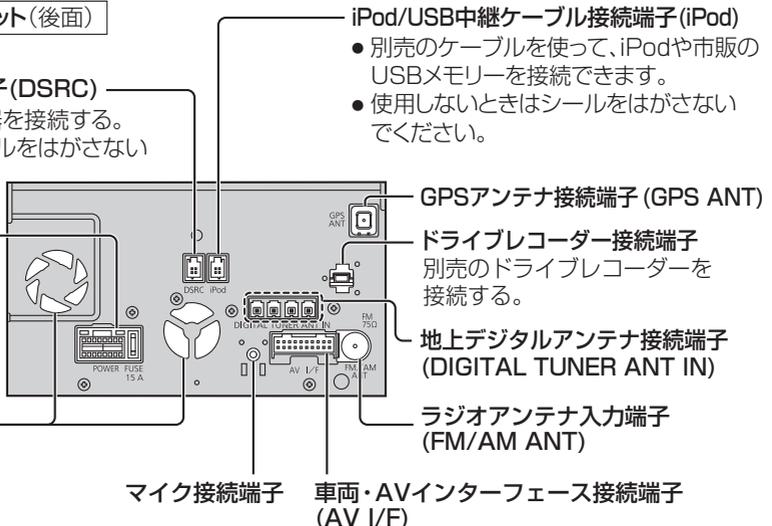
ETC2.0車載器接続端子(DSRC)

- 別売のETC2.0車載器を接続する。
- 使用しないときはシールをはがさないでください。

電源コネクター
(POWER FUSE 15 A)
ヒューズ15 A内蔵

排熱用ファン

周囲をふさがらないでください。



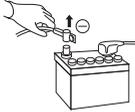
もくじ

接続端子一覧	表紙
作業の順序	2
取り付け・配線の前に	3
配線のしかた	4
圧着式コネクタの取り付けかた	4
ロック付きコードの取り外しかた	4
保護カバーの取り付けかた (外れ防止・コネクタ保護)	5
電源コード/車両インターフェースコード	6
アンテナ/マイク	8
マイクの取り付けかた	9
サンバイザーに取り付ける場合(推奨)	9
ステアリングコラムカバーなどに取り付ける場合	9
アンテナの取付位置について	10
GPSアンテナの取り付けかた	11
地上デジタルアンテナの取り付けかた	12
ガラスにアンテナを貼り付ける	12
アンテナコードを貼り付ける	13
ナビゲーションユニットの取り付けかた	14
ディスプレイユニットの取り付けかた	18
ディスプレイの位置や角度を調整する	19
ディスプレイの上下位置を調整する	19
ディスプレイの角度を調整する	19
他の機器と組み合わせて使う	20
iPod (iPhone)	21
USBメモリー	21
車両AVインターフェースコード	22
後席用モニター	23
ビデオカメラ	23
ETC2.0車載器	24
リアビューカメラ	24
ドライブレコーダー	25
取り付け・配線の確認	26
電源を入れる	26
ツートップメニューを表示させる	26
GPS情報を確認する	26
車両信号情報を確認する	26
拡張ユニット情報を確認する	26
車種を設定する	26
内容物の確認	裏表紙

作業の順序

必ず対応車種をご確認のうえ、運転の妨げにならないよう設置してください。

1 バッテリーの⊖端子を外す



2 付属のアンテナやマイク、および他の機器(別売品)を取り付ける

必ず仮止めをして、取り付ける位置を確認してください。

- 他の機器と接続する場合は、接続する機器の説明書もよくお読みになり、正しく配線してください。

3 各種コード/ケーブルを配線する

- 車両側との配線が容易にできる別売の中継コードなどがあります。詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

お願い

- ショート事故防止のため、電源コネクタへの接続は、必ず他の配線をすませてから最後に行ってください。

4 ナビゲーションユニットを車両に取り付ける

- 車種・グレード・年式により、別売の取付キットなどが必要となる場合があります。

5 ディスプレイユニットをナビゲーションユニットに取り付ける

6 バッテリーの⊖端子をもとに戻す

お願い

- バッテリー端子取り付け用ナットは、寸法が合った工具を使用し、しっかりと締め付けて固定してください。

7 取り付け・配線を確認する

取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物をご確認ください。
- 取り付けには、一般工具、トルクレンチ、カッターナイフ、布きれなどが必要です。
- 盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなる場合があります。
- ボルト、ナット、ねじの取り付けは寸法が合った工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線がされていること、および車の電装品が正しく動くことを必ずご確認ください。

取り付け・配線の作業時には、安全のため必ず手袋を使用してください。

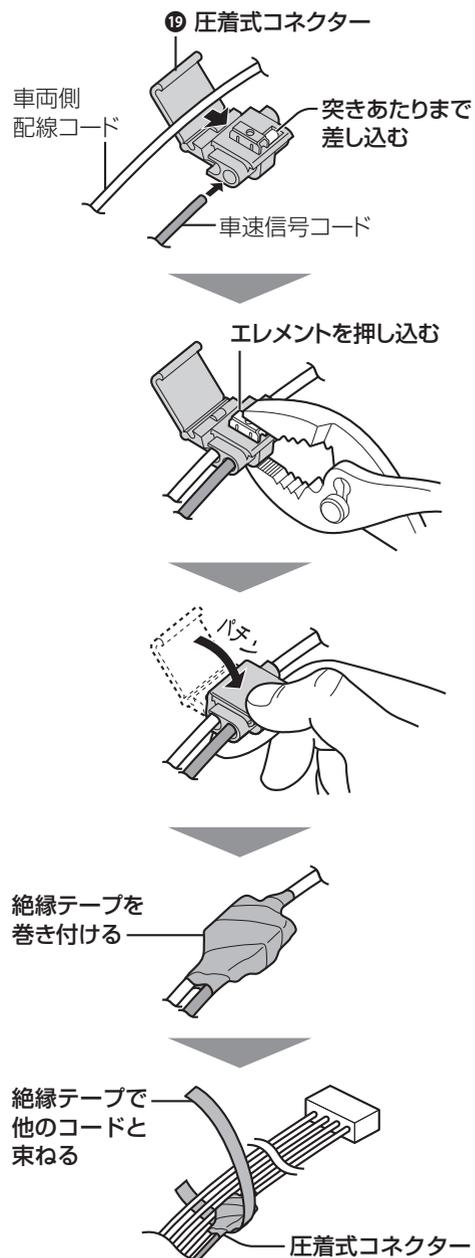
お願い

- コネクタは確実に差し込んでください。
- 各コードに接続するコネクタが合わない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- コードを引き回す際は、高熱部や車体の金属部との接触を避け、コードクランパーや市販のテープなどで要所を固定してください。
- ヒューズが切れた場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にヒューズの交換を依頼してください。(→取扱説明書)
- 使用しないコードやコネクタは、先端をビニールテープなどで絶縁してください。
- キャップ付きのコードは、使用しないときはキャップを外さないでください。
- 各種アンテナコード(地上デジタル、ラジオ、GPS)は、電源コードとは別々に配線し、本機に接触しないようにしてください。また、あまった各種アンテナコードは別々に束ねてください。一緒に束ねるとアンテナの受信感度が低下したり、映像・音声にノイズが入る原因となります。
- スピーカーは最大入力50 W以上のハイパワー用で、インピーダンスが4 Ωから8 Ωのスピーカーをご使用ください。
- 故障の原因となりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。
- 確実に取り付けするために、トルクレンチで締め付けてください。(推奨)
- 電動ドライバーを使用しないでください。過度の負荷がかかり、破損するおそれがあります。

配線のしかた

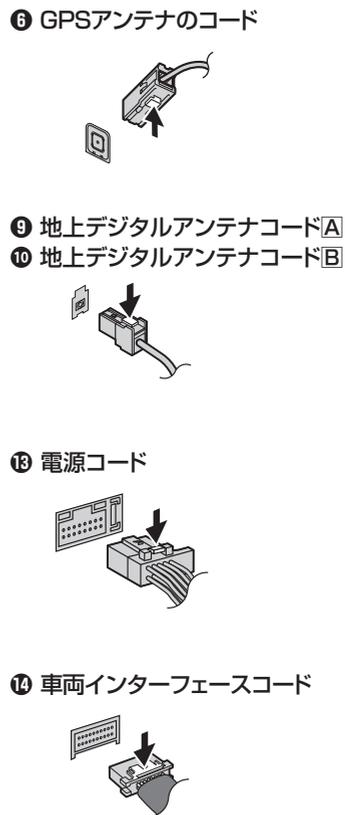
圧着式コネクタの取り付けかた

指定の箇所以外に使用しないでください。



ロック付きコードの取り外しかた

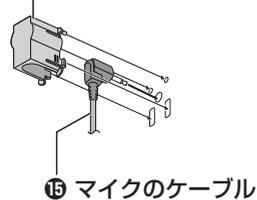
矢印の方向に押しながら、取り外す。
●無理に引っ張ると破損することがあります。
●必ず、ロックが解除されていることを確認してから取り外してください。



保護カバーの取り付けかた (外れ防止・コネクタ保護)

■ マイクケーブル保護カバー
付属のマイクを接続後、必ずコネクタにカバーをかぶせてください。

⑯ マイクケーブル保護カバー



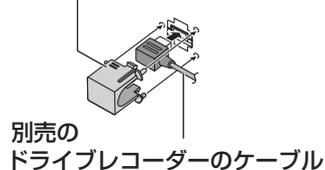
取り外すには



■ 保護カバー (システムアップ用)

別売のドライブレコーダーを接続時は、必ずコネクタにカバーをかぶせてください。

⑰ 保護カバー (システムアップ用)



取り外すには



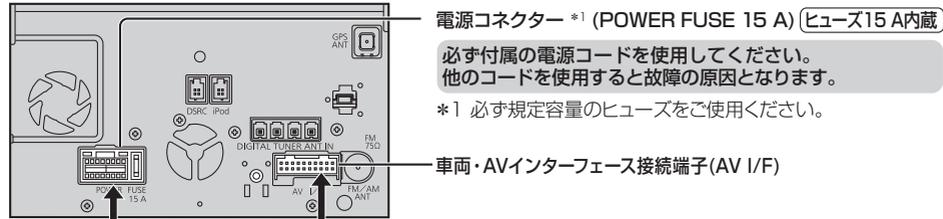
お願い

●無理に引っ張ると、破損することがあります。
必ず、カバーのロックが解除されていることを確認してから取り外してください。
カバーが取り外しにくい場合は、いったん押し込んでから、再び取り外してください。

配線のしかた(続き)

電源コード/車両インターフェースコード

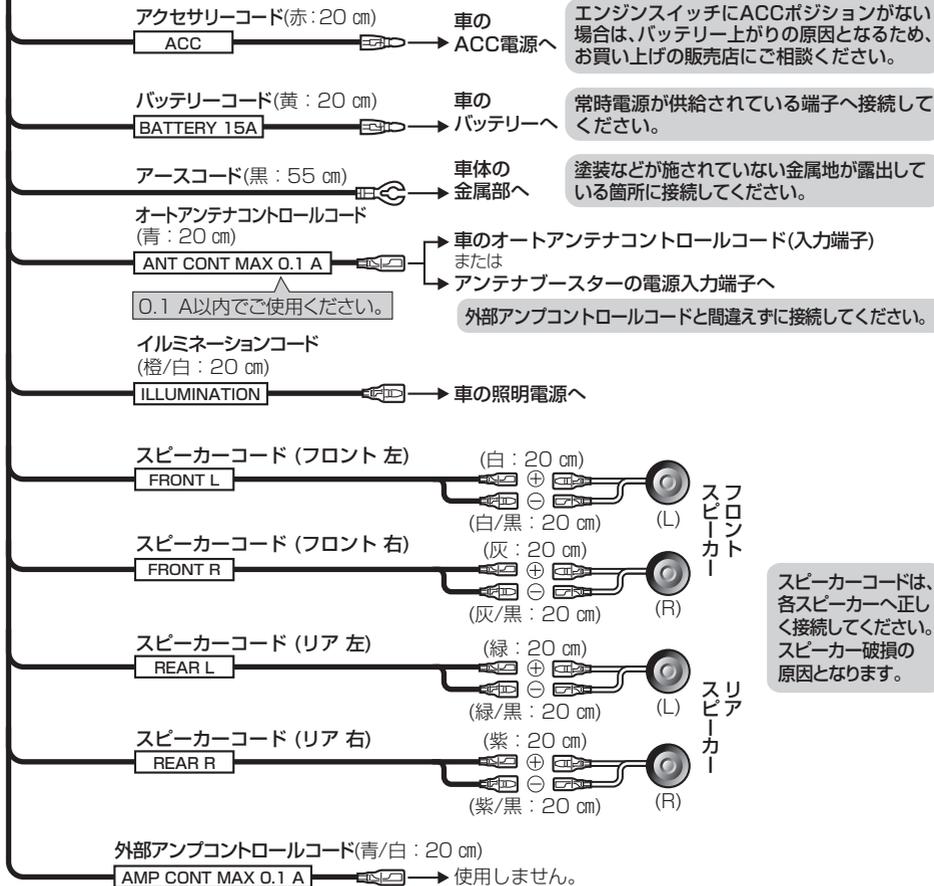
① ナビゲーションユニット(後面)



⑧ 電源コード

全ての配線が完了し、接続を確認したあとに差し込んでください。

⑭ 車両インターフェースコード



*2 本書では、「パーキングブレーキ」「サイドブレーキ」「フットブレーキ」「ハンドブレーキ」などのことを、「パーキングブレーキ」と呼称して、表記していますが、コードの名称のみ「サイドブレーキ」と呼称して、説明しています。

サイドブレーキコード*2は必ず接続してください。

- 正しく接続し、ブレーキをかけていない場合には、操作が制限されます。
- 車両側との配線が容易にできる別売の中継コードなどがあります。

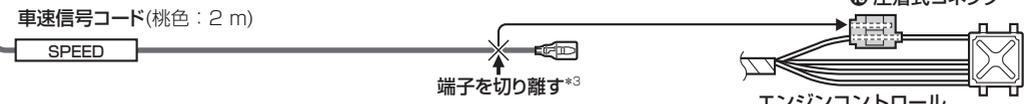
※詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



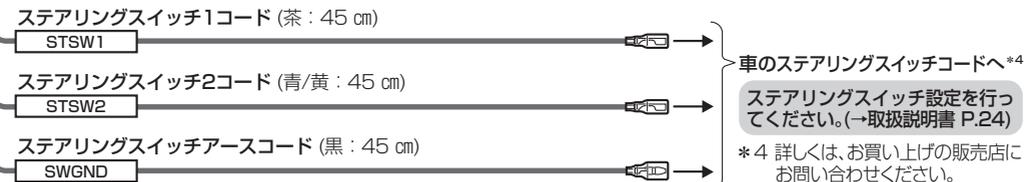
リバースコードは必ず接続してください。

- 自車位置が正しく表示されない場合があります。
- 車両側との配線が容易にできる別売の中継コードなどがあります。

※詳しくは、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

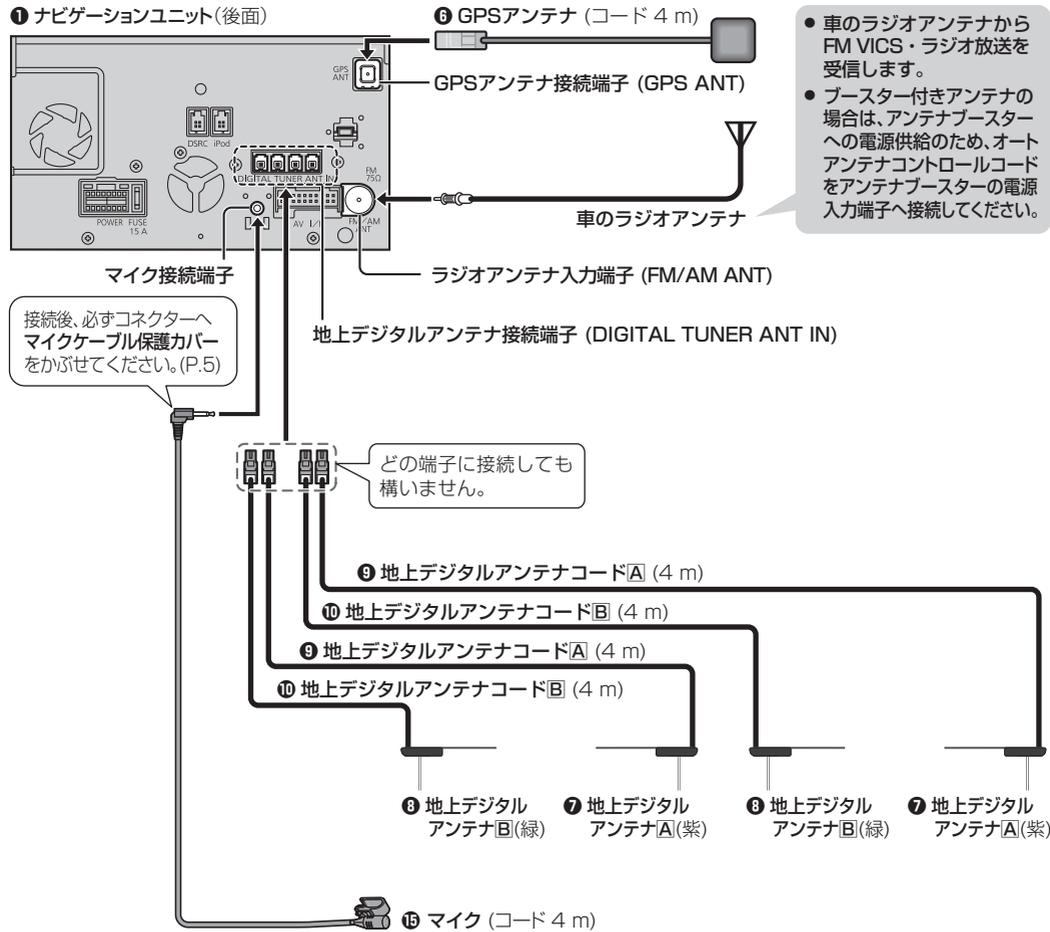


*3 接続先のコードに端子がある(車両側コネクターとの接続用変換ハーネスや中継コードなどを用いる)場合は、端子を切らずに接続してください。



配線のしかた(続き)

アンテナ/マイク



- 車のラジオアンテナからFM VICS・ラジオ放送を受信します。
- ブースター付きアンテナの場合は、アンテナブースターへの電源供給のため、オートアンテナコントロールコードをアンテナブースターの電源入力端子へ接続してください。

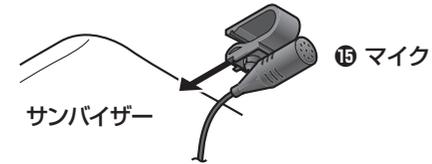
マイクの取り付けかた

- 発声する人の口元から20 cm~40 cm離してください。マイクからの距離が近すぎたり、遠すぎたりすると誤認識の原因になります。
- 必ず、付属のマイクを使用してください。

サンバイザーに取り付ける場合(推奨)

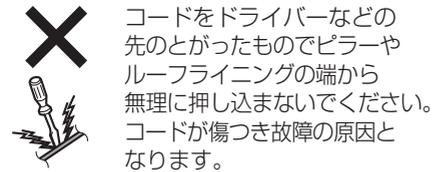
1 マイクをクリップで取り付ける

- 認識率がよくなるように、サンバイザーの適切な位置に取り付けてください。
- 無理に取り付けると、クリップが破損する場合があります。



2 コードを引き回す

例)ピラーの内側に配線する場合



ピラーのカバーを取り外す

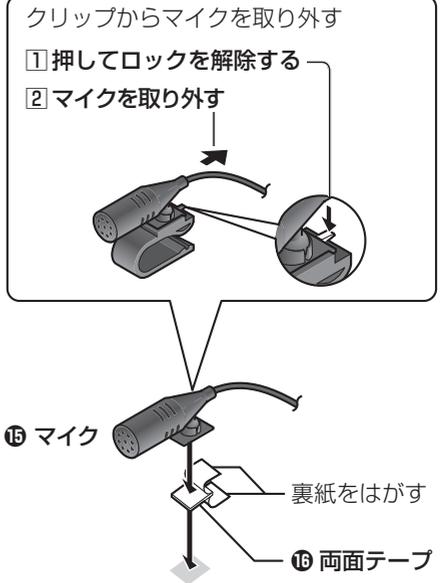
- ピラーのカバーの取り外しかたは、車種によって異なります。
- 配線後、もとに戻してください。
- ピラーにエアバッグが装備されている場合は、取り付けできません。

車両メーカー・カーディーラーに注意事項を確認してから作業を行ってください。

ステアリングコラムカバーなどに取り付ける場合

1 マイクを両面テープで取り付ける

- 運転の妨げにならない位置に取り付けてください。
- なるべく車のスピーカーから離れた位置に取り付けてください。



2 コードを引き回す

- 運転や乗り降りの妨げにならないように、コードクランパーでコードの要所を固定してください。

アンテナの取付位置について

- 車両装備の様や注意事項を車両メーカー・カーディーラーに確認してから作業してください。
 - ピラーにエアバッグが装備されている場合、取り付けできません。
 - 電波を通さないガラス(熱線反射ガラスや電波不透過ガラスなど)が装備されている場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。

国土交通省の定める保安基準*1に適合させるため、地上デジタルアンテナの給電部およびコードの端子は、必ず下記の取付許容範囲内に貼り付けてください。

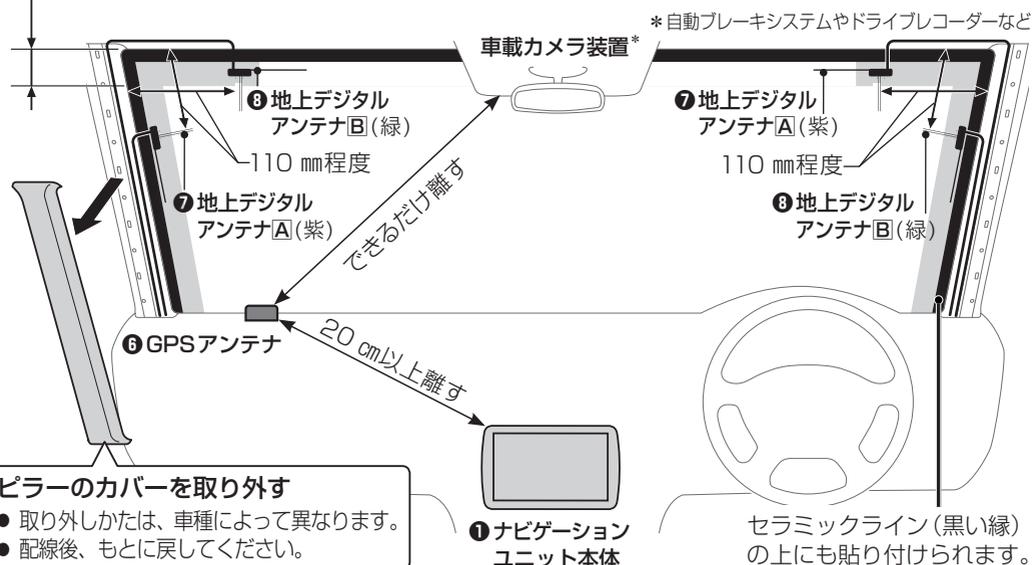
*1 道路運送車両の保安基準第29条(窓ガラス)、細目告示第39条および別添37

取付許容範囲: ■部

地上デジタルアンテナの給電部をフロントガラスの端から25 mm以内に貼り付けてください。

地上デジタルアンテナは、性能を十分発揮するために、必ず車室内の指定の位置に、正しい向きで貼り付けてください。

- 指定の位置や寸法内に取り付けられない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



ピラーのカバーを取り外す

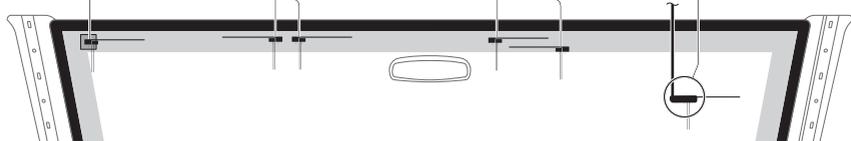
- 取り外しかたは、車種によって異なります。
- 配線後、もとに戻してください。

- 車両によっては、ルームミラーに近い地上デジタルアンテナ2本をリアクォーターガラスに設置します。そのときは、別売の地上デジタルアンテナコード5.5 m(CA-LDT550D)が必要となる場合があります。

地上デジタルアンテナは、下記のような貼り付けを、絶対にしないでください。

- 国土交通省の定める保安基準に適合しない場合があります。
- アンテナの性能を十分に発揮できません。

点検シールなどに重ねて貼らない
アンテナの(△)を逆に貼らない
重なった位置に貼らない
アンテナの給電部およびコードの端子は取付許容範囲外に貼らない

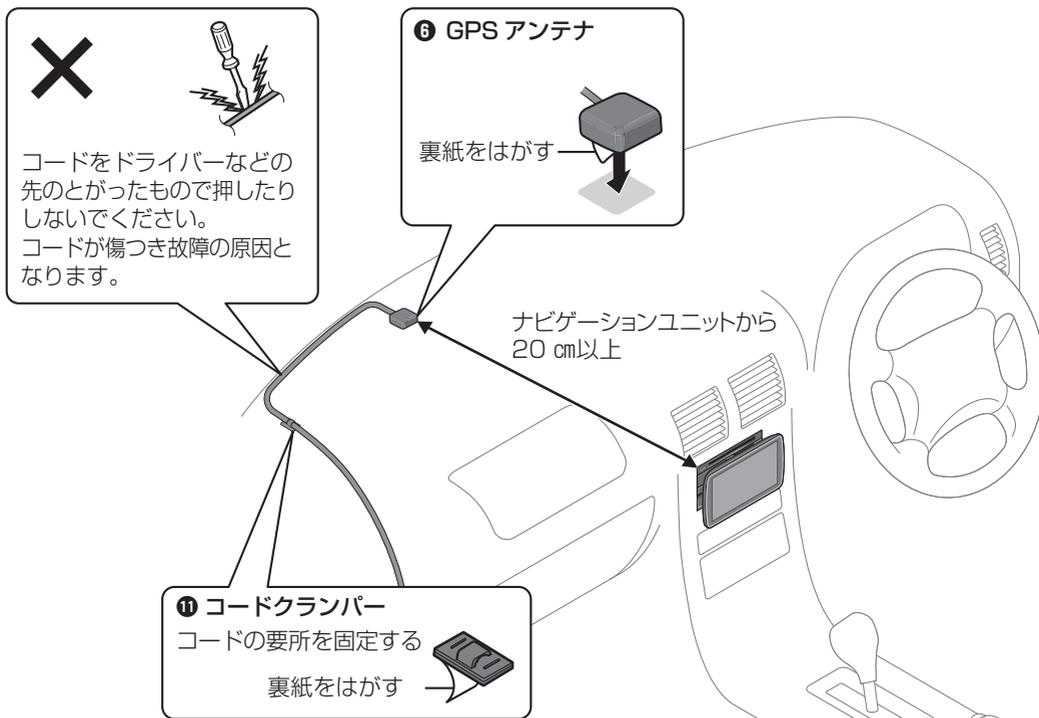


GPS アンテナの取り付けかた

- 必ず車室内(ダッシュボード上のガラス付近)に取り付けてください。
- 防水構造ではありませんので、車外には取り付けしないでください。

取り付ける前に

- 設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。
- 妨害による受信感度低下を防ぐため、他の機器からできるだけ離して設置してください。また、他のアンテナから15cm以上離して、それぞれのコードは別々に配線(引き回しを左右別方向にするなど)してください。



お知らせ

- 車体の形状や電波を通さない一部のガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」にご相談ください。(→取扱説明書)
- 受信状態が悪い場合は、GPSアンテナを受信状態の良い場所に設置しなおしてください。(P.26)

地上デジタルアンテナの取り付けかた

取り付ける前に

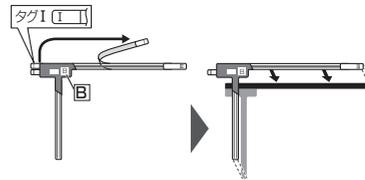
- アンテナを折り曲げないよう、お取り扱いにご注意ください。
- 貼り付ける前に、付属のクリーナーで設置面(ガラス面、ピラー)の汚れ(ごみ・ほこり・油)などをきれいに拭き取り、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり貼り付けてください。
 - ・ガラス面が完全に乾いた状態で作業を行ってください。接着不良などによるはがれの原因となります。
 - ・気温が低いとき(20℃以下)は、車内ヒーターやデフロスタでガラスを温めてください。
 - ・界面活性剤入りのクリーナーは使用しないでください。
- 仮止めして、貼り付ける位置と左右の向きをご確認ください。貼りなおせません。
- 糊面や給電部に手を触れないでください。接着不良によるはがれの原因となります。
- 妨害による受信感度低下を防ぐため、他のアンテナから20 cm以上離して貼り付けてください。
- 車種によって、性能が発揮できない場合があります。
 - 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店にご相談ください。

ガラスにアンテナを貼り付ける

地上デジタルアンテナB(緑)を例に説明しています。A(紫)も左右対称にして同様に貼り付けてください。必ず指定の位置に、正しい向きで取り付けてください。

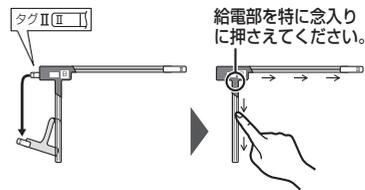
1 タグIを持ってセパレーターをはがし、貼り付ける

- 強く曲げる、急にはがす、引っ張るなどしないでください。断線の原因となります。
- 貼付位置を確認してから貼り付けてください。



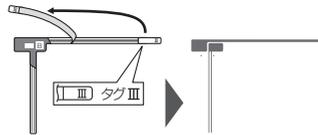
2 タグIIを持ってセパレーターをはがし、アースパターン/給電部/エレメントをしっかりガラス面に密着させる

- 貼り付けたあと、矢印の方向に、指などで均等に押し付け、ガラス面に密着させてください。
- 車外から見て、ガラス面に密着していることを確認してください。



3 タグIIIを持って、フィルムをゆっくりとはがす

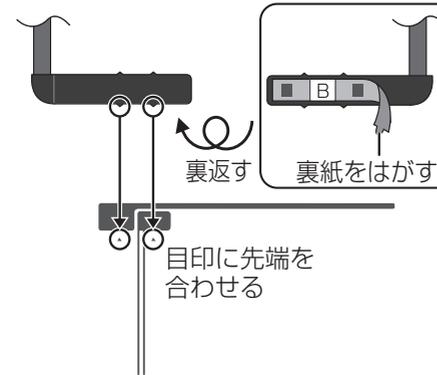
- アースパターン/給電部/エレメントが貼り付いていることを確認してください。
- フィルム側に残る場合は、フィルムをもとに戻して全体を上からこすり、再度はがしてください。



4 他の3枚も同様に貼り付ける

アンテナコードを貼り付ける

1 端子をエレメントの給電部に貼り付ける



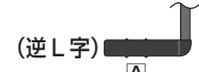
同じマークのアンテナとコードを組み合わせてください。

⑩ 地上デジタル
アンテナコードB



⑧ 地上デジタル
アンテナB(緑)

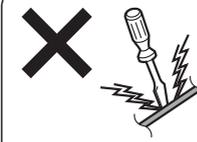
⑨ 地上デジタル
アンテナコードA



⑦ 地上デジタル
アンテナA(紫)

2 コードを引き回す

- 他のコード類からできるだけ離してください。また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。TVの音声に雑音が入る原因となります。



アンテナコードをドライバーなどの先のとがったもので、ピラーやルーフィングの端から無理に押し込んだりしないでください。コードが傷つき故障の原因となります。

⑪ コードクランプ
コードの要所を固定する



裏紙をはがす

3 他の3本も同様に貼り付ける

4 アンテナコードをナビゲーションユニットに接続する (P.8)

ナビゲーションユニットの取り付けかた

- 対応車種については、Webサイト (<https://panasonic.jp/car/navi/f1d-taiouhashu/>) をご覧ください。
- 車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。
- 車種・グレード・年式により、取付キットなどの別売品が必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

1 スライドベースの位置を決める

※ この作業によって、ディスプレイの前後位置が決まります。[お買い上げ時の位置：奥側]
 右ページの表をよく確かめのうえ、スライドベースの位置を決めてください。
 ディスプレイユニットの取り付けは、ナビゲーションユニットを車両に取り付けた後の作業となります。

■ 下記のような場合は、スライドベースを手前に引き出してください。(推奨)

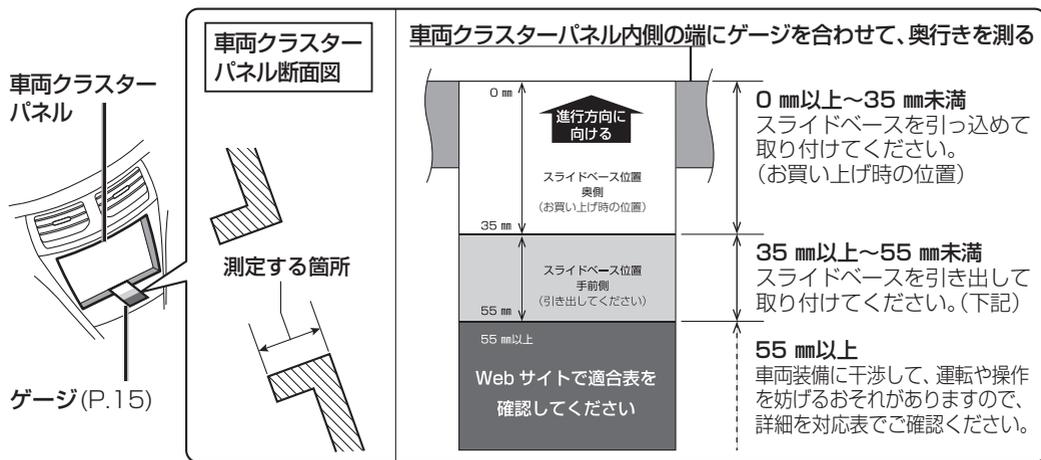
ディスプレイの上下位置を下端にして使用する場合 (P.19)

オーディオスペースと車両装備*との位置関係を確認してください。
 特にハザードスイッチに対して、運転席からの視線と操作が妨げられないように考慮してください。
 * ハザードスイッチ、エアコン吹き出し口、エアコンパネルなど

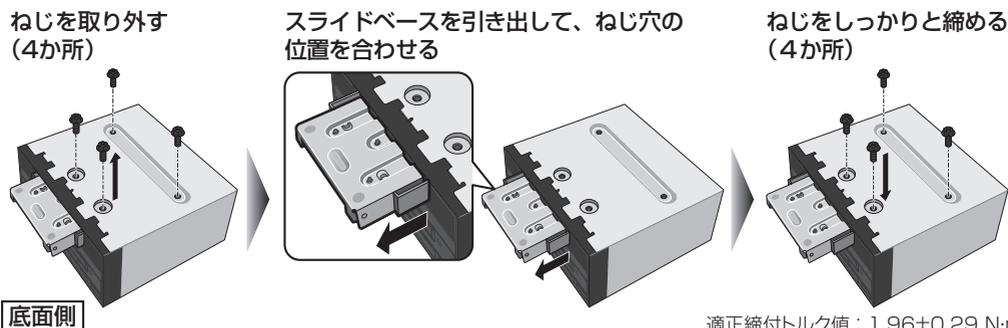
車両クラスターパネルに厚みがあり、手前に出っ張っているタイプの場合

奥行きを測るゲージ (P.15) は目安です。必ず車両装備*との干渉を確認してください。

* シフトレバー、ワイパーレバーなど



スライドベースの引き出しかた



適正締めトルク値：1.96±0.29 N・m

お願い

- 故障の原因となりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。
- 確実に取り付けるために、トルクレンチで締め付けてください。(推奨)
- 電動ドライバーを使用しないでください。過度の負荷がかかり、破損するおそれがあります。

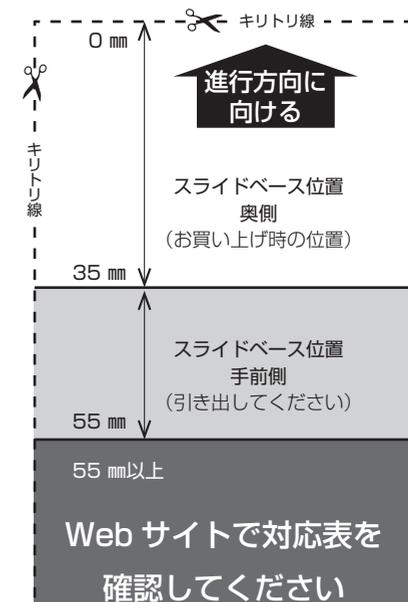
位置と可動範囲

下図の空間にディスプレイの動きを妨げるものが無いように、位置を調整してください。

スライドベース	奥	奥	手前	手前
ディスプレイ	上端	下端	上端	下端
起こした状態				
倒した状態				

ゲージ スライドベースの前後位置確認用

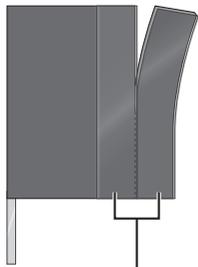
コピーしてお使いください。
 車両クラスターパネルの奥行き寸法がスライドベースの位置を決める目安となります。



2 防振パッドを取り付ける

防振パッドが図の向きになるように

スライドベースに合わせて、防振パッドの切れ込みの位置でカットしてください。



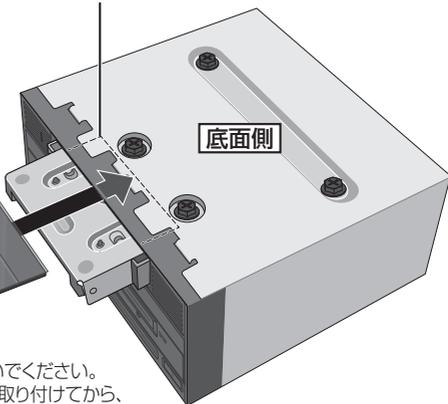
切れ込み部分のシートは、はがさないでください。防振パッドを差し込む際に、滑りを良くするためのものです。

④ 防振パッド

裏紙は、まだはがさないでください。ディスプレイユニットを取り付けてから、接合部の底面に貼り付けます。(P.18)

ディスプレイユニットの振動を抑えるために、必ず防振パッドを取り付けてください。

内部に突き当たるまでしっかりと差し込む



底面側

3 取り付け金具(ブラケット)を取り付ける

- ⑦ ワッシャー付き六角ねじ (ナビゲーションユニット用)
(M5×8 mm)
適正締付トルク値：1.96±0.29 N・m

純正品の取付金具を使用してください。取り付け強度が不十分となり、操作荷重によって、変形・破損するおそれがあります。

4 オーディオスペースに取り付ける

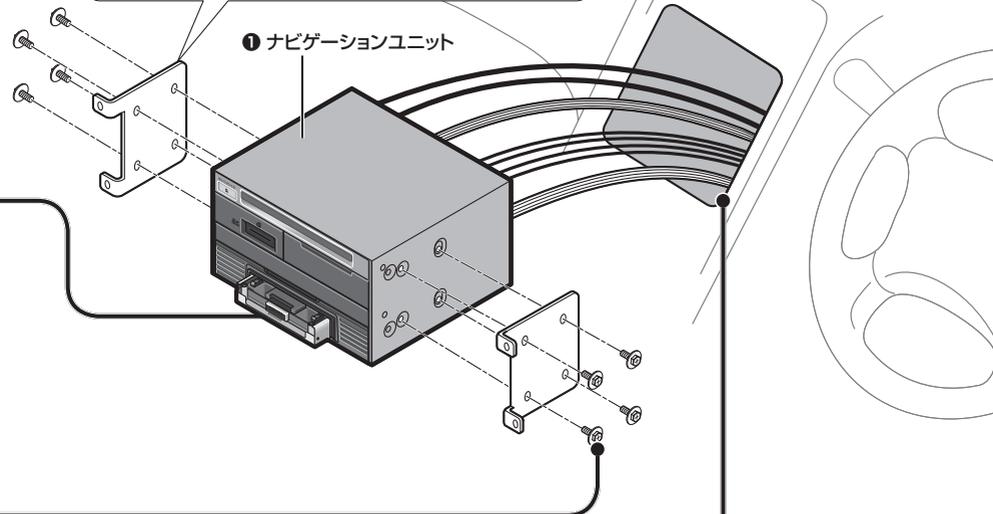
- 寸法：幅180 mm×高さ100 mm (2DINサイズ)
- 角度：水平に対して40°以下
- 取付角度が大きい場合、ジャイロが正しく動作せず、自車位置が正しく表示されません。

オーディオスペースに無理に押し込まないでください。配線(コネクターやコード)に負担がかかり、接続不良の原因となります。

- 対応車種については、Webサイト (<https://panasonic.jp/car/navi/f1d-taioushashu/>) をご覧ください。
- 車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。
- 車種・グレード・年式により、取付キットなどの別売品が必要となる場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

取付例

取り付け金具の凸部(位置決め)があたる場合には、ニッパー等でカットして取り付けてください。



① ナビゲーションユニット

ゲージ
(裏面)

お願い

- 故障の原因となりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。
- 確実に取り付けのために、トルクレンチで締め付けてください。(推奨)
- 電動ドライバーを使用しないでください。過度の負荷がかかり、破損するおそれがあります。

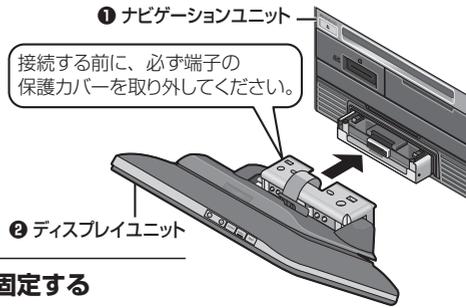
ディスプレイユニットの取り付けかた

1 ナビゲーションユニットのスライドベースにディスプレイユニットをしっかりとめ込む

- ディスプレイユニットの取り外しかたについては、下記をご覧ください。

お願い

- 故障の原因となりますので、ディスプレイユニットの端子部分に触らないよう、取り扱いにご注意ください。



2 目隠しカバーを接合部にかぶせて、しっかりと固定する

※目隠しカバーを固定しないと

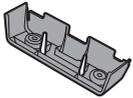
「パネルカバーが正常に接続されていません。」のメッセージが表示されます。

詳しくは、取扱説明書(「故障かな!?!」)をご覧ください。

裏側のピンが破損している場合、お買い上げの販売店へご相談ください。起動しないおそれがあります。

③ 目隠しカバー

かぶせる前に、裏側のピン(2本)に破損がないことを確認してください。

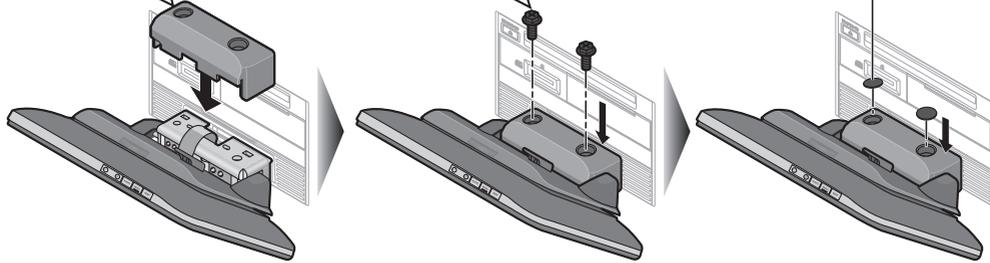


④ 座付き六角ねじ黒

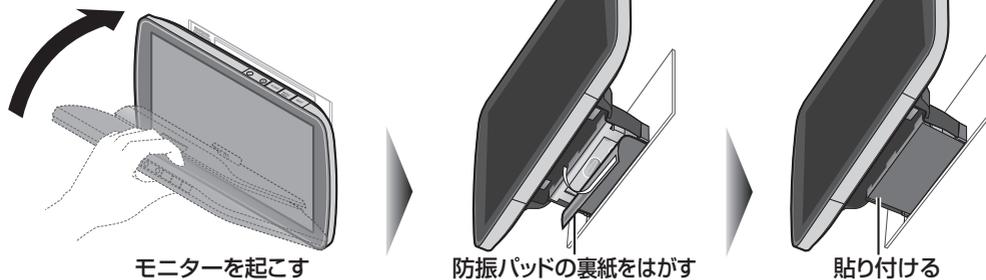
(ディスプレイユニット用)(M5×8 mm)

適正締付トルク値：1.96±0.29 N·m

⑤ 目隠しシール



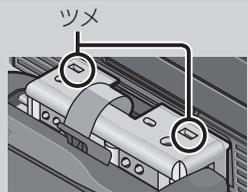
3 ディ스플레이を手動で起こして、防振パッドを貼る



ディスプレイユニットの取り外しかた

- ① 片側のツメを、マイナスドライバーなどで上から軽く押す
- ② ツメを押したままディスプレイユニットを少し手前に引き、ロックを外す
- ③ 反対側も同様にロックを外す

- ツメを強く押すと破損するおそれがあります。破損しないように軽く押ししてください。



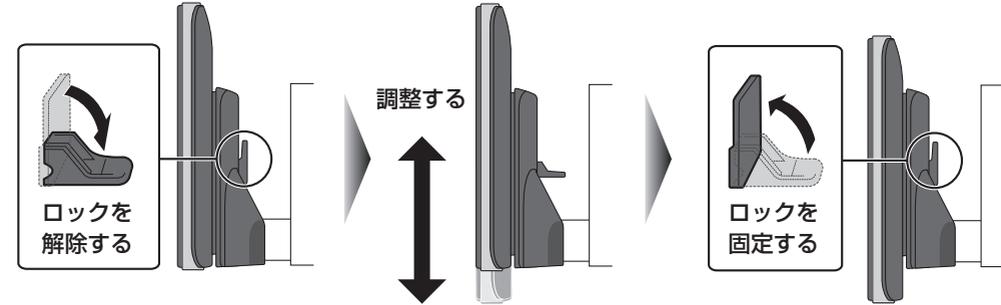
ディスプレイの位置や角度を調整する

- 必ず、安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態で操作してください。
- 電源が入っているときは、できるだけ操作部(タッチパネル、ボタン)を持たないでください。

ディスプレイの上下位置を調整する

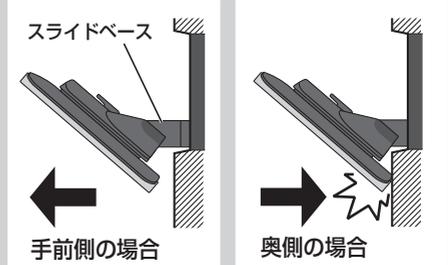
ディスプレイの上側をしっかりと持ち、手で高さを調整する

- 無理に動かさずに、必ずロックを解除してください。
- ロックを固定する前に手を放すと、重みでディスプレイが下がってしまいます。ディスプレイを手で持ったまま、ロックを固定してください。



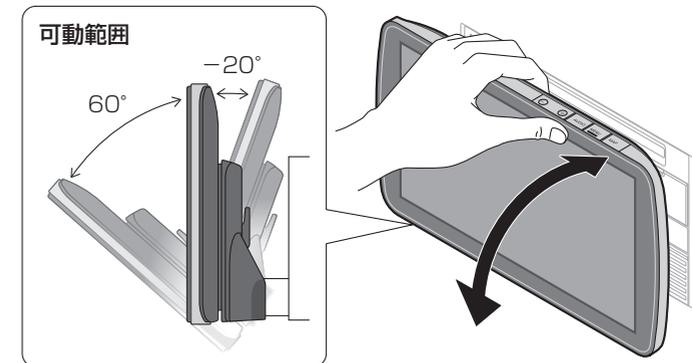
ディスプレイの上下位置を下端にすると、車両側に干渉しやすくなります。

- ディスプレイが車両側に接触して、運転を妨げたり・傷をつけたりしないよう、よくご確認ください。
- 下端にして使用するときは、スライドベースを手前に引き出して、車両に取り付けてください。(P.14～15)



ディスプレイの角度を調整する

ディスプレイの上側をしっかりと持ち、手で角度を調整する



お知らせ

- 左右方向の調整はできません。

他の機器と組み合わせて使う

組み合わせる前に

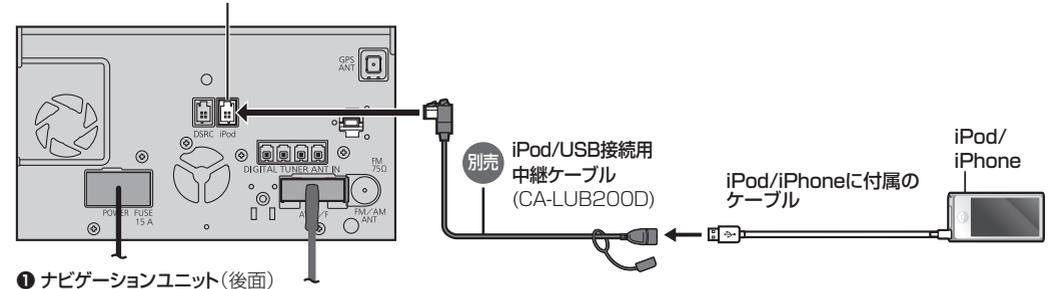
- 推奨品以外はご使用になれない場合がありますので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 使いかたについては、取扱説明書をご覧ください。
- 接続する機器の説明書も、よくお読みください。

■ iPod/USBメモリー使用時のお願い

- 必ず別売のiPod/USB接続用中継ケーブル(CA-LUB200D)で接続してください。
他のナビゲーションに付属されているケーブルを使用すると、正しく動作しない場合があります。
- iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。
- 取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- 運転中に動かないように市販のホルダーなどでしっかり固定してください。
- 固定する際は、エアバッグの動作を妨げないようにしてください。
- 車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- 高熱部や車体の金属部、ヒーターの熱風や直射日光を避けて配線してください。
- 使用しないときは必ずコネクタにカバーやキャップをかぶせて保護してください。
- 対応機種については、取扱説明書および当社サイトをご覧ください。

iPod (iPhone)

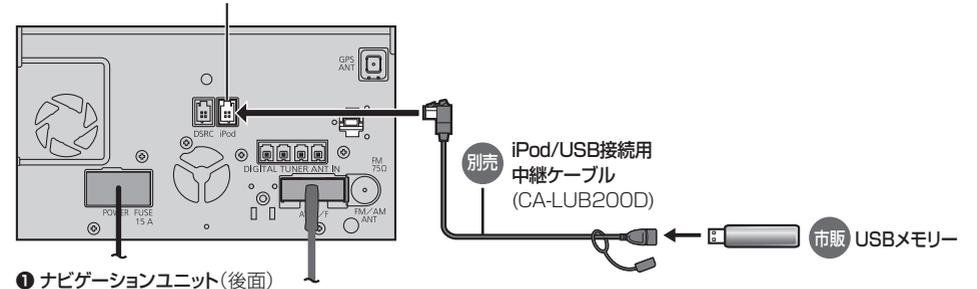
iPod/USB中継ケーブル接続端子(iPod)



- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。

USBメモリー

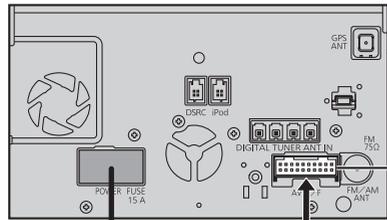
iPod/USB中継ケーブル接続端子(iPod)



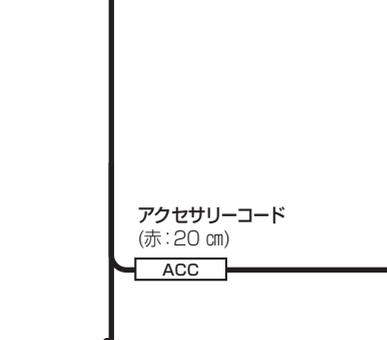
- iPodとUSBメモリーは、同時には接続できません。

他の機器と組み合わせて使う(続き)

① ナビゲーションユニット(後面)



② 電源コード



車両AVインターフェースコード

後席用モニターやビデオカメラなどを接続するには、別売の車両AVインターフェースコード(CA-LAV200D)が必要です。

車両・AVインターフェース接続端子(AV I/F)

(白) 別売 車両AVインターフェースコード(CA-LAV200D)

映像出力コード(25 cm)

VIDEO OUT

オプションカメラ入力コード(20 cm)

VIDEO IN

アクセサリコード(赤:20 cm)

ACC

映像・音声入力コード(25 cm)

AV IN

下記のコードは、付属の車両インターフェースコードと同様に配線してください。(P.6)

カメラ映像入力コード(20 cm) 映像(黄)

CAMERA IN

サイドブレーキコード(若草色: 2 m)

SIDE BRAKE

リバースコード(紫/白: 2 m)

REVERSE

車速信号コード(桃色: 2 m)

SPEED

ステアリングスイッチ1コード(茶: 45 cm)

STSW1

ステアリングスイッチ2コード(青/黄: 45 cm)

STSW2

ステアリングスイッチアースコード(黒: 45 cm)

SWGND

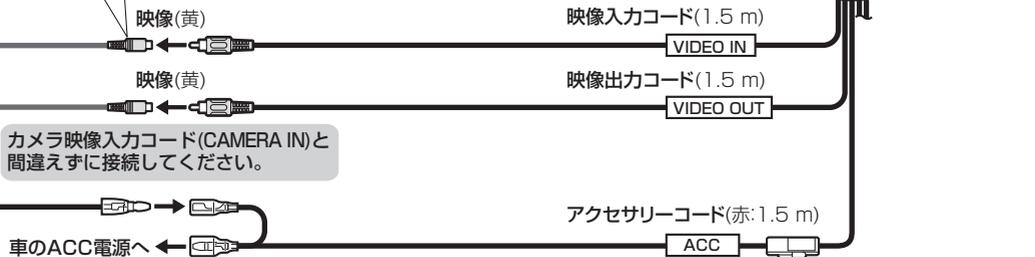
サブウーファー出力コード(25 cm) (黒)

S.W OUT

使用しません

後席用モニター

- 著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は、本製品とモニターを直接接続して楽しみください。
- アナログ出力が禁止されている動画データは、出力できません。



別売 カメラ付きリアモニター(CA-RMC900D: 生産完了品)

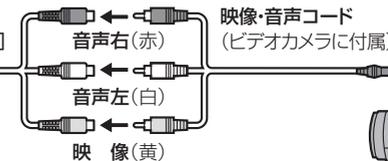
電源/AVケーブル(カメラ付きリアモニターに付属)

電源/AVケーブル接続端子

ビデオカメラ

汎用 変換コード [4極ミニ(オス) ↔ RCA(ステレオ音声・映像)(メス)]

4極ミニプラグは、右記の配線パターンのもをお使いください。



市販 ビデオカメラ

他の機器と組み合わせて使う(続き)

ETC2.0車載器

別売 ETC2.0車載器 (旧名称:DSRC車載器)
(CY-DSR140D)

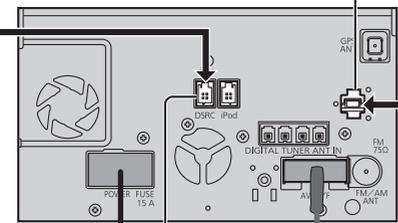


カーナビゲーション接続コード(ETC2.0車載器に付属)

- 機種によっては、本機との接続に別売のDSRC車載器・カーナビゲーション接続コード(CA-DC10D)が必要となる場合があります。詳しくは、接続する機器の説明書をご覧ください。

① ナビゲーションユニット(後面)

ドライブレコーダー接続端子



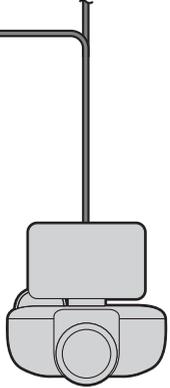
ETC2.0車載器接続端子(DSRC)

ドライブレコーダー

ドライブレコーダーの
ナビゲーション接続コード

接続後、必ずコネクターへ
保護カバー(システムアップ用)
をかぶせてください。(P.5)

別売 ドライブレコーダー
(CA-DR02D)



リアビューカメラ

別売 リヤビューカメラ
(CY-RC90KD)



電源コード(リヤビューカメラに付属)

映像用コード (5 m)

- 別売のマルチカメラシステム(CY-MCRS71KD:生産完了品)を接続する場合は、マルチカメラの信号コードを本機のリバースコードに接続してください。

映像(黄)

CAMERA IN

カメラ映像入力コード (20 cm)

取り付け・配線の確認

電源を入れる

- 1 車のエンジンをかける(ACCをONにする)
●本機の電源が入ります。
- 2 警告画面の注意事項を確認して、**確認**を選ぶ
●現在地画面(自車位置)が表示されます。
- 3 見晴らしの良い場所で、GPSの受信状態を確認する



- GPSを受信すると、方位マークが黄色に変わります。
- しばらくたっても自車位置が表示されないときは、GPS情報から受信状態を確認してください。(下記)
- 正しい自車位置が表示されていないと、学習レベル(P.27)は正しく表示されません。

車両信号情報を確認する

- 1 ツートップメニュー(左記)から、**情報・設定**→**情報**→**車両信号情報**を選ぶ
- 2 バッテリー電圧を確認する
- 3 車両信号情報を確認する
- 4 **センサー学習値初期化**を選ぶ
●車速パルスと学習レベルが初期化されます。初期化後は、車のエンジンを止め(ACC OFF)、約10秒以上過ぎてから再度電源を入れてください。
- 5 車速パルスを確認する
●現在地画面を表示させ、車両を少し移動させたあと、車速パルスを確認する

販売店様へお願い

- 以下はおお客様にご確認いただくようご依頼ください。

- 6 **学習レベル**を確認する
●現在地画面を表示させ、見晴らしの良い道路をしばらく(60分以上)走行したあと、各項目を確認する

+B電圧	バッテリー電圧が表示されます。 12V(11V~16V)になっていますか?
走行状態 (パーキングブレーキ)	パーキングブレーキ*1をかけると、「停車」に、解除すると「走行」に変わりますか?
リバース	シフトレバーをリバース(R)に入れると「ON」、解除すると「OFF」に変わりますか?
スモールランプ	車のスモールランプを点灯させると「ON」、消灯させると「OFF」に変わりますか?
車速パルス	走行後、数字が変化していますか?
学習レベル	走行後、数字が変化していますか? ●距離: Level 1~Level 5 ●回転: Level 1-1~Level 5-5 ●3D: Level 1~Level 5

*1 本書では、「パーキングブレーキ」「サイドブレーキ」「フットブレーキ」「ハンドブレーキ」などのことを、「パーキングブレーキ」と呼称して、表記しています。

お知らせ

- 次のようなコースでは、補正処理に時間がかかり、学習内容に誤差が出ることがあります。
・渋滞・停車を頻繁に繰り返す ・右左折が多い ・右左折が極端に少ない ・GPS信号を受信しにくい
- 次の場合にも「センサー学習値初期化」をしてください。
・別の車に本機を載せかえた ・タイヤを交換した ・タイヤをローテーションした
- 「車速信号が検出できません」と表示された場合は、車速信号(中継)コードの接続を確認してください。
- 車種によっては、速度を上げると自車マークが動かなくなることがありますが、補正処理を行っている間は故障ではありません。

ツートップメニューを表示させる

MENUを押す

- ツートップメニューが表示されます。



拡張ユニット情報を確認する

- 1 ツートップメニュー(左記)から、**情報・設定**→**情報**→**拡張ユニット情報**を選ぶ
- 2 拡張ユニット情報を確認する

iPod*2	iPodを接続している場合、ON表示になっていますか?
USB*2	市販のUSBメモリーを接続している場合、ON表示になっていますか?
ETC2.0ユニット	別売のETC2.0車載器を接続している場合、ON表示になっていますか?
ドライブレコーダー	別売のドライブレコーダーを接続している場合、ON表示になっていますか?

*2 同時には接続できません。

車種を設定する

- 1 ツートップメニュー(左記)から、**情報・設定**を選ぶ
- 2 **システム設定**を選び、**その他設定**を選ぶ
- 3 **車種設定**を選ぶ
- 4 車種を選ぶ

車種	● 軽自動車 ● 小型車両 ● 普通車両
	● 中型車両 ● 大型車両 ● 特定車両
[お買い上げ時の設定: 小型車両]	

GPS情報を確認する

- 1 ツートップメニュー(上記)から、**情報・設定**を選び、**情報**→**GPS情報**を選ぶ
- 2 GPS情報を確認する

内容物の確認

万一、不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品名	数量
①	 ナビゲーションユニット	1
	 地図SDHCメモリーカード (本機に挿入済み)	1
②	 ディスプレイユニット	1
③	 目隠しカバー	1
④	 防振パッド	1
⑤	 目隠しシール (予備を含む)	4
⑥	 GPSアンテナ (コード4 m)	1
⑦	 地上デジタルアンテナA (紫)	2
⑧	 地上デジタルアンテナB (緑)	2
⑨	 地上デジタルアンテナ コードA (4 m)	2
⑩	 地上デジタルアンテナ コードB (4 m)	2

番号	品名	数量
⑪	 コードクランパー	8
⑫	 クリーナー	1
⑬	 電源コード	1
⑭	 車両インターフェースコード	1
⑮	 マイク (コード4 m)	1
⑯	 両面テープ	1
⑰	 ワッシャー付き六角ねじ (ナビゲーションユニット用) (M5 × 8 mm)	8
⑱	 座付き六角ねじ 黒 (ディスプレイユニット用) (M5 × 8 mm)	2
⑲	 圧着式コネクタ	1
⑳	 マイクケーブル保護カバー	1
㉑	 保護カバー*1 (システムアップ用)	1

主な添付品

説明書キット	1
保証書	1

- 本書に記載の寸法は、おおよその数値です。
 - イラストはイメージであり、実際と異なる場合があります。
 - 本製品の仕様、外観は、改良のため予告なく変更することがあります。
 - 包装材料などは、商品を取り出したあと、地域・自治体の定めに従って、適切に廃棄やリサイクルの処理をしてください。
- * 1 別売のドライブレコーダーの接続時に使用します。
使用しないときは紛失しないように保管、または、ナビゲーションユニットの後面に取り付けてください。

お知らせ

- 本機は「B-CASカード」を付属しておりません。B-CASカード不要で、地上デジタル放送を視聴できます。

パナソニック株式会社
オートモーティブ & インダストリアルシステムズ社

〒224-8520 横浜市都筑区池辺町4261番地